

東京スクエアガーデン「京橋環境ステーション」 エコまち塾開講のお知らせ（5月20日より） ～「エコなまちづくり」を、キーパーソンと共に学び、考える～

都市の低炭素化を推進することを目的として、有識者とともに東京建物株式会社をはじめとする企業群（※1）が会員となり活動する一般社団法人中小既築建築物省エネ化フォーラムでは、昨年開業した「京橋環境ステーション」（中央区京橋 3-1-1 東京スクエアガーデン 6 階）の活動の一環として、5月20日より通期のセミナー・エコなまちづくりを学び考える「エコまち塾」を開講します。

■開講の背景と目的

一般社団法人中小既築建築物省エネ化フォーラムは、昨年開業した京橋環境ステーションを拠点として、都市の低炭素化を促進するエリアエネルギーマネジメント活動を行っています。都市の低炭素化は地球温暖化対策として喫緊の課題ですが、その実現にはさまざまな障害を克服する必要があり、中には単眼的なアプローチでは克服が困難なものもあります。同フォーラムは、この難題の克服に向け、市民や有識者、行政、企業などさまざまな立場や領域を横断する知の交流を促し、エコなまちづくりを共に学び考える「エコまち塾」を開催し、都市の低炭素化に向けた活動のきっかけづくりを支援していきます。

■エコなまちづくりを学び、考える「エコまち塾」とは



概念図

1. 様々な領域における有識者による講義

塾長である早稲田大学特命教授・伊藤滋氏をはじめ、建築、都市計画、環境、エネルギー、経済等、様々な領域において第一線で活躍する有識者を講師に迎え、地球温暖化の実態把握から具体的な都市の低炭素化の方法を学び、考えます。

2. 様々な領域から塾生が参加、横断的なつながりの形成に寄与

各回 160 名程度を予定する受講者のうち 80 名は、通年で受講する塾生です。

塾生については、行政、金融業界、建設・不動産業界、民間など、多様な領域から定員の 3 倍強を上回る応募がありました。塾生は、講義を受講するだけでなく講師とのディスカッションに参加できる他、定期的な受講を通じ他の塾生との交流を深めることができます。

3. 計 14 回、10 か月に渡る継続的な講演の実施

平成 26 年 5 月 20 日より平成 27 年 3 月中旬までの通期において、有識者による講演（9 回）、塾生を交えたパネルディスカッション（3 回）、シンポジウムにおける年度の総括（1 回）を行います。低炭素化について継続的に考える機会を設けることで、その理解を更に深めることができます。

4. 企業が運営費用を負担

本塾の運営費用は、京橋環境ステーションの事業主（※1）および当該施設に環境技術を展示する企業群（※2）が賄っており、受講者は無料で参加することができます。

※1：京橋開発特定目的会社、第一生命保険株式会社、片倉工業株式会社、清水地所株式会社、京橋三丁目特定目的会社、ジェイアンドエス保険サービス株式会社

※2：株式会社朝日工業社、株式会社きんでん、株式会社スミノエ、高砂熱学工業株式会社、株式会社ニチベイ、株式会社日立製作所、日比谷総合設備株式会社、不二サッシ株式会社、株式会社 L I X I L

※3：国土交通省、環境省、東京都、中央区、一般財団法人省エネルギーセンター、東京商工会議所中央支部、一般社団法人日本建設業連合会、公益社団法人日本都市計画学会、一般社団法人日本ビルディング協会連合会、一般社団法人不動産協会、一般社団法人不動産証券化協会



現地地図